

平成24年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年4月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 夢真ホールディングス

 コード番号 2362 URL <http://www.yumeshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 矢島 英一

TEL 03-5981-0672

四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日

配当支払開始予定日

平成24年6月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	5,432	89.3	594	63.3	638	74.8	393	145.6
23年9月期第2四半期	2,868	11.1	364	1.8	365	1.5	160	44.6

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 420百万円 (137.0%) 23年9月期第2四半期 177百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	6.72	
23年9月期第2四半期	2.64	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年9月期第2四半期	7,686		2,099		24.4	
23年9月期	6,629		1,757		23.5	

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 1,876百万円 23年9月期 1,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期		1.00		1.00		2.00
24年9月期		1.50				
24年9月期(予想)				1.50		3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,200	64.3	1,300	139.5	1,400	210.2	850	731.4	14.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	74,573,440 株	23年9月期	74,573,440 株
期末自己株式数	24年9月期2Q	16,031,685 株	23年9月期	15,891,584 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	58,565,685 株	23年9月期2Q	60,777,175 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

平成24年5月24日(木)……機関投資家向け説明会

上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により低下していた企業の生産活動に緩やかな回復傾向が見られたものの、海外経済の減速や長期化する円高、厳しい雇用情勢を背景とした個人消費の低迷など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

建設業界におきましては、東日本大震災の影響による、改修・補修工事、耐震補強工事の増加、住宅ローン減税等の政策による、新設マンション着工戸数の増加等を受け、建設投資額もリーマンショック以前の水準に近づきつつあります。また、東北復興に備え、ゼネコン各社が東北地方への技術者増員を行っていることで、首都圏の技術者が不足する事態が生じております。

エンジニア派遣事業における顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、依然として円高は続いているものの、日銀によるインフレターゲットの設定により、若干の円高修正が入り、各企業の想定レートに接近したことから、輸出企業を中心に生産回復の兆しが見受けられました。しかしながら、景気の先行きが不透明であるため、一部研究開発費の削減や採用の抑制が続いております。

このような事業環境の下、当社グループでは、建築技術者派遣事業において、建築技術者の首都圏での需要拡大、東北復興の本格化に備え、採用活動を強化してまいりました。同時に新規顧客を中心に積極的な営業活動を行い、未稼働技術者を増やすことなく技術者数の底上げを行ってまいりました。

また、自動車、電気機器、半導体等の各分野へのエンジニア派遣事業において、コスト管理の徹底及び営業の効率化を図り、稼働率の改善に注力しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高5,432百万円（前年同四半期比89.3%増）、営業利益594百万円（前年同四半期比63.3%増）、経常利益638百万円（前年同四半期比74.8%増）、四半期純利益393百万円（前年同四半期比145.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①建築技術者派遣事業

当社グループの中核事業であります建築技術者派遣事業におきましては、新設マンション着工の回復、東日本大震災の影響による首都圏近郊での改修・補修工事、耐震補強工事等の増加、東京都でのオフィスビル着工の増加、さらに慢性的な技術者不足の影響により、その需要は旺盛となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の平均稼働率は99.1%と前年同期平均97.7%と比較し1.4ポイントの増加となりました。また、東北復興に備え注力している採用活動の効果等により、平成24年3月末現在の技術者数は1,015名となり、前年同月末804名と比較し211名増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,126百万円（前年同四半期比18.4%増）、セグメント利益は565百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。

②エンジニア派遣事業

エンジニア派遣事業におきましては、主要顧客である自動車、電機、精密機械メーカー等、製造業各社において、東日本大震災の影響等による生産の落ち込みから、回復基調にありました。しかしながら先行きに関しましては、円高、電力不足、海外景気の減速等により不透明となっております。

このような事業環境の下、販管費の削減を進め、新規顧客の開拓及び、稼働率の改善を営業施策の柱として取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,107百万円（前年同四半期売上高は68百万円）、セグメント利益は146百万円（前年同四半期は5百万円のセグメント損失）となりました。

③子育て支援事業

子育て支援事業におきましては、待機児童が多く、保育サービスの需要が高い東京都において認証保育所を、神奈川県において横浜保育室を計3園運営してまいりました。また、保育士の派遣を実施しており、施設及び人材の両方向から、子育て支援を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は141百万円（前年同四半期比11.7%減）、セグメント利益は20百万円（前年同四半期は15百万円のセグメント損失）となりました。

④医療介護支援事業

医療介護支援事業におきましては、高齢社会が進む中、医療介護支援サービスのニーズの増加を背景に、より良い医療介護支援サービスを提供することを目的とし、デイサービス施設を東京都文京区及び板橋区にて運営してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は56百万円（前年同四半期売上高は0.8百万円）、セグメント損失は10百万円（前年同四半期は20百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,057百万円増加し、7,686百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加462百万円、受取手形及び売掛金の増加200百万円、投資有価証券の増加342百万円等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて715百万円増加し、5,587百万円となりました。これは主に社債の減少1,240百万円、借入金の増加1,916百万円等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて342百万円増加し、2,099百万円となりました。これは主に四半期純利益393百万円、剰余金の配当58百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績見通しといたしまして、当社グループは、引き続き主力であります建築技術者派遣事業及びエンジニア派遣事業におきまして、採用の強化による稼働人数の増加、新規需要の開拓及び派遣価格の見直しを進めることで業績の向上に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、子会社であります株式会社夢テクノロジーの業績が予想を上回ったため、当初の業績予想を上回る結果となりました。通期業績予想につきましては、東北での震災復興需要本格化の時期が依然不透明であるものの、当社における採用強化による稼働人員増加の影響が当初の予想を上回るため、平成23年10月31日に公表いたしました業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、平成24年4月27日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,304,430	2,766,850
受取手形及び売掛金	1,425,242	1,625,333
有価証券	777	4,152
たな卸資産	1,324	1,788
その他	259,546	336,926
貸倒引当金	△74,374	△84,116
流動資産合計	3,916,946	4,650,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	761,042	755,931
その他(純額)	626,473	625,518
有形固定資産合計	1,387,516	1,381,450
無形固定資産		
のれん	717,591	670,277
その他	41,418	35,837
無形固定資産合計	759,009	706,115
投資その他の資産		
その他	613,565	994,387
貸倒引当金	△47,388	△46,026
投資その他の資産合計	566,177	948,361
固定資産合計	2,712,703	3,035,927
資産合計	6,629,650	7,686,862
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,606	11,684
短期借入金	26,000	1,264,490
1年内返済予定の長期借入金	929,164	895,844
1年内償還予定の社債	1,240,000	—
未払法人税等	112,121	222,961
賞与引当金	231,488	194,171
役員賞与引当金	20,000	—
その他	831,849	832,197
流動負債合計	3,400,228	3,421,349
固定負債		
長期借入金	1,088,407	1,799,645
退職給付引当金	266,441	245,362
資産除去債務	2,879	3,204
その他	114,449	118,005
固定負債合計	1,472,177	2,166,217
負債合計	4,872,406	5,587,566

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	867,545	867,545
利益剰余金	1,669,909	2,004,862
自己株式	△1,770,226	△1,789,777
株主資本合計	1,572,374	1,887,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,594	△11,323
その他の包括利益累計額合計	△11,594	△11,323
新株予約権	3,142	3,142
少数株主持分	193,321	219,700
純資産合計	1,757,243	2,099,296
負債純資産合計	6,629,650	7,686,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	2,868,924	5,432,265
売上原価	1,962,476	3,870,990
売上総利益	906,447	1,561,274
販売費及び一般管理費	542,360	966,820
営業利益	364,087	594,454
営業外収益		
受取利息	2,044	2,227
受取配当金	5	3,392
投資有価証券売却益	—	12,359
投資事業組合運用益	23,086	—
受取家賃	36,551	38,925
補助金収入	32,388	65,593
その他	11,330	15,318
営業外収益合計	105,407	137,818
営業外費用		
支払利息	27,856	33,918
社債発行費	29,670	—
解約精算金	22,426	—
賃貸収入原価	12,546	12,620
その他	11,543	46,991
営業外費用合計	104,043	93,530
経常利益	365,451	638,742
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,852	—
特別利益合計	1,852	—
特別損失		
固定資産除却損	18,253	3,309
投資有価証券評価損	21,115	—
その他	896	—
特別損失合計	40,265	3,309
税金等調整前四半期純利益	327,038	635,433
法人税、住民税及び事業税	25,558	216,296
法人税等調整額	141,893	△1,273
法人税等合計	167,451	215,023
少数株主損益調整前四半期純利益	159,586	420,409
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△720	26,774
四半期純利益	160,306	393,635

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	159,586	420,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,715	△124
その他の包括利益合計	17,715	△124
四半期包括利益	177,301	420,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,022	393,906
少数株主に係る四半期包括利益	△720	26,378

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
I 売上高及び営業損益						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,639,531	68,337	160,157	898	2,868,924	2,868,924
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,639,531	68,337	160,157	898	2,868,924	2,868,924
セグメント利益 又は損失(△)	475,440	△5,706	△15,357	△20,051	434,325	434,325

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	434,325
のれんの償却額	△5,263
全社損益(注)	△63,610
四半期連結損益計算書の経常利益	365,451

(注) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない、当社の管理部門にかかる収益及び費用です。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
I 売上高及び営業損益						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,126,245	2,107,798	141,482	56,738	5,432,265	5,432,265
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,126,245	2,107,798	141,482	56,738	5,432,265	5,432,265
セグメント利益 又は損失(△)	565,344	146,918	20,060	△10,056	722,266	722,266

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	722,266
のれんの償却額	△41,331
全社損益(注)	△42,193
四半期連結損益計算書の経常利益	638,742

(注) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない、当社の管理部門にかかる収益及び費用です。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間より、株式会社ユニテックソフト及び株式会社夢テクノロジーを子会社化したことにより、報告セグメントを「建築技術者派遣事業」「エンジニア派遣事業」「子育て支援事業」「医療介護支援事業」に変更しております。

当該変更に伴う四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及びセグメント利益又は損失の金額に関する情報に与える影響は軽微であります。

なお、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間については、変更後の区分方法により作成しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

各会計期間における業績予想対比について

(1) 連結

(単位：百万円)

	第1四半期会計期間		第2四半期会計期間		第3四半期会計期間		第4四半期会計期間	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	—	—	—	—	2,800	300	2,968	461
決算値 (B)	2,663	282	2,768	355				
達成率 (B/A)	—	—	—	—				
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	1,368	186	1,500	179	1,404	110	2,543	▲ 24
前年同期比	194.6%	151.7%	184.5%	198.9%				

(単位：百万円)

	第2四半期累計		通 期	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	—	—	11,200	1,400
決算値 (B)	5,432	638		
達成率 (B/A)	—	—		
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	2,868	365	6,816	451
前年同期比	189.3%	174.8%		

(2) 単体

(単位：百万円)

	第1四半期会計期間		第2四半期会計期間		第3四半期会計期間		第4四半期会計期間	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	—	—	—	—	1,600	250	1,975	390
決算値 (B)	1,495	216	1,630	294				
達成率 (B/A)	—	—	—	—				
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	1,361	203	1,422	216	1,292	130	1,383	▲ 15
前年同期比	109.8%	106.0%	114.7%	136.0%				

(単位：百万円)

	第2四半期累計		通 期	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	—	—	6,700	1,150
決算値 (B)	3,126	510		
達成率 (B/A)	—	—		
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	2,783	420	5,459	535
前年同期比	112.3%	121.5%		

※ 予想値に関しましては、2012年4月27日に開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、修正しております。